

冬の自然観察会（サロマ湖畔遊歩道）

不思議が沢山 冬の森林

2月27日（土）、サロマ湖畔遊歩道で冬の自然観察会を行いました。
新型コロナ感染対策として、参加人数はバス定員の半数以下の20名、バス内はマスク着用・飲食禁止、昼食なし（おやつタイム設定）などいつもと違う緊張した雰囲気です。

スノーシューを履いて4グループに分かれて歩き始めた森林は、朝まで降った雪で真っ白。やっぱり森林はいいね！



雪原の中にポツ・ポツ・ポツ、
こっちにはケン・ケン・パツ…。

「ガイドさん、何の足跡？」

「キタキツネとエゾユキウサギだね。」

でも、キツネは食べたいし、ウサギは食べられたくないはず・・・どうして同じ所に足跡があるのかな？

そんなことを考えて歩いていたら、香りの良い枝の先にフェルトに包まれた花芽があるし、大きなハチの巣がぶら下がった枝があり、冬なのに緑の葉のまま木に張り付いて登るツルがあり、冬の森林は不思議が沢山。

密を避けるため2班ごとに2カ所に分かれてのおやつタイム、休んでいると冷たい風が身にしみみます。

大きなヤドリギに驚き、幹周り3mを超える木々に自然のエネルギーを感じながら歩くこと約2時間、全員無事に散策を終えました。

新型コロナ感染予防対策で窮屈な面もありましたが、楽しい時間を過ごすことができ、参加者の皆さん、ガイドの皆さんに感謝です。

<小島>

冬の自然観察会

寒さを忘れて

朝は雪模様！「今日は大丈夫かしら？」と思っていたら、出発時には青空が見え—安心。



スノーシューを履くのは一年ぶりで少し心配していましたが、装着時も脱着時も班の方がしっかりサポートして下さり、森林散策を楽しむことができました。

サロマ湖から吹き上げる冷たい風に、少し寒く感じるときもありましたが、雪上のネズミ、ユキウサギ、キタキツネ、エゾシカ、エゾリスの足跡の発見や芽吹き始めている木の芽に春が近づいていることを感じ、寒さを忘れてしまいました。



ツルマサキ

ガイドの方が測った大木の幹周りが3m以上あることに驚き、何百年もこの場所で成長していることに感激です。

また、ツルアジサイとイワガラミの見分け方、大きなヤドリギ、冬の間も緑の葉を保っているツルマサキなど、ユーモアも交えながら、色々と説明していただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

<秋田直美>

なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに…)

日に日に暖かくなり、サクラやキタコブシの花が春の訪れを告げています。

ところで、キタコブシと似ている花にモクレン（シモクレン）、ハクモクレンがありますが、その違いわかりますか？
自生種、園芸種の違いじゃないですよ！



自然のパワーを感じる

スノーシューを履いて、班ごとに間隔をとって、ゆっくりと進みながら森の観察が始まりました。

積雪は少なく、ササがやっと隠れるくらい。動物の足跡も朝まで降った雪と地吹雪ではっきりしません。

そんな中、ガイドさんの示したところには木の幹に張り付くように緑の小さな葉が広がっていました。



冬にはマツかささくらいしか緑の葉はないと思っていたので不思議でした。

途中、坂を下って湖岸に着きました。1~2mの高さに氷が迫り上がって^せいて、その先にはオホーツク海まで真っ白い氷原が続いていました。自然のすごいパワーを感じることができました。

遊歩道に戻ると、大きな枯れ木に大小たくさんの穴が空いていて、根元には木くずが…クマゲラなどが餌になる幼虫などを探した跡との説明、残念ながら、今回は野鳥には出会えず、いつか観たいと思いました。



ガイドさんの説明も実物標本や写真などの資料を示しながら、マイクを使って頂き分かりやすかったです。

新型コロナ禍でしたが、感染予防に配慮し開催して頂き、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

<中野慎一>

スノーシュー

初体験!

冬の自然観察会

「スノーシューって知ってる?履いて散策できるけど参加しない?」と誘われ、自然は好きだけど、寒いのは苦手。当日は、天気でありますように…と願い、申込み。

当日、参加されている方に防寒装備を聞いて、トイレでカイロを追加して防寒準備OK!

次はスノーシュー、教えて頂き無事に履くことができ、いざ出発!でも、なかなか前へ進まない、「こまかく歩くといいよ~」の声に助けられ、んー、大丈夫だ!



坂道も、登り・下りと教えていただき、私の初体験も皆さんのやさしさで楽しい一日に終わったことを感謝します。

夏にもう一度、同じ景色を見に行きたいと思います。
(今年、入会しました。よろしくお願ひします。)

<森元幸子>

【なるほどクイズ】 答え

キタコブシの花は白色、(シ)モクレンを漢字にすると(紫)木蓮で花は紫色なので一目瞭然。

ハクモクレンの花は白なので色での判定は不可、花の大きさ(キタコブシ4~5cm、ハクモクレン8~10cm)、向き(キタコブシ:上~横~下と様々、ハクモクレン:上)に違いがあるようですが、環境・個体差も…。

明らかに違うのが花びら、キタコブシ6枚に対して、ハクモクレンの花びら(のように見えるもの)は9枚(3枚はがく)。

でも、樹種名より、素直に花の美しさ・香りを楽しみたい…。

(北見フラワーパラダイスはキタコブシ・モクレンの名所です)



第 14 回総会

写真展は来春実施

第 14 回総会は、3 月 13 日（土）、北網圏北見文化センター講座室で行われました（参加者 16 名）。

吉田会長（主催）、常呂川 FC 南所長（来賓）の挨拶を受けた後、議事に入りました。

コロナ禍で行事等も中止・制限がかかる中で、例年に比べ寂しい活動報告でしたが、「森林散策ウィーク」、初企画の「4 コマで感じる写真展」は好評を得ました。



また、親子で参加できる企画の充実を求める意見や、植村氏より「写真展については今年度は充電期間とし、来年、大輪の花を咲かせたい」（今秋から準備、22 年 4 月頃予定）との報告がありました。

議案は全体の拍手で承認されました。
また、役員改選では、栄副会長、金村監事が退任し、表の通りの役員体制となりました。

最後になりますが、「オホーツクの会」設立当初からご尽力をいただいた栄平男氏が当会を卒業されました。

右も左も分からず暗中模索の中、当会の基盤を築いていただきありがとうございました。

健康に留意され、ますますご活躍されることを祈念します。

<渡部>



新 役 員

役 職	氏 名
顧 問	鞘 師 守
会 長	吉 田 昭 義
副会長	渋谷 朝 美
事務局長	小 島 愼
幹 事	角 良 和
//	長谷川 秋 夫
//	植 村 之 彦
//	小 原 励
//	小 山 穂 積
//	阿 部 和 平
//	村 林 宏
//	大 戸 香
監 事	小 林 洋 幸
//	響 田 恵 美

身近にいるけど **研修会**

なかなか見れないシマエナガ

3月13日、総会に先立って「雪の妖精 シマエナガの森」と題した研修会（講師：山本光一氏）が行われました。

講演の中では、

- ・シマエナガの体重は7グラムほどで同じくらいの大きさのシジュウカラなどと比べ半分以下で圧倒的に軽い
- ・卵は7~12個程度、オス・メス交代で温め2週間程度でふ化
- ・巣は一般的なドンブリ型ではなく、コケ・羽毛などを材料に木の肌そっくりな袋状
- ・巣立ち直後のヒナが巣の近くの枝に横一列に固まって止まること（ヒナダンゴ）
- ・どこかの菓子店がシマエナガをモチーフに和菓子を作り大当たり、作った理由は「簡単だから…」など、知らないことばかりで興味をそそられました。



そして、シマエナガは決して特別な鳥ではなく、とても身近にいる鳥だそうです。

しかし、なかなか見ることができない鳥でもあるそうです。

そう言われると、自分の近くには見落としている物、見逃している物がたくさんあるのではないかと、もっと身の回りに目を向ける必要があるのではないのでしょうか。

とにかくほっこりした研修会でした。私の妻もかわいいが、シマエナガにはやられました。

<小原>



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、別紙「**申込み用紙**」または**メール**で
h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FC アドレス)

○**第1回自主活動** (第2火曜日&必要に応じて)

日時 2021年 5月11日(火) 9:30~
場所 森の家集合
内容 森の家周辺の環境整備他
持ち物 森林散策できる服装、飲み物、マスク等、(昼食なし)
申込み 5月 6日(木)まで

○**第2回自主活動** (第2火曜日&必要に応じて)

日時 2021年 5月29日(土) 9:30~
場所 森の家集合
内容 「森林の魅(味)力を感じよう!」準備他
持ち物 山菜採取できる服装・装備、昼食、飲み物、マスク等
申込み 5月18日(火)まで

○**森林の魅(味)力を感じよう!** (主催:常呂川 FC)

月日 2021年 5月30日(日) 9:30~
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9:00 (受付8:30~)
場所 オホーツクの森(森の家周辺)
内容 山菜・野草を通して、森林の魅力を感じ、森林の恵みに感謝しよう
持ち物 山菜採取できる服装・装備、昼食、飲み物、マスク等
参加費 300円(保険料、材料費等)
申込み 5月18日(火)まで
定員(20名予定)を上回った場合は抽選

○**森林づくり塾(第1回)** (主催:常呂川 FC)

月日 2021年 6月6日(日) 9:30~
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9:00 (受付8:30~)
場所 オホーツクの森
内容 森林づくり(補植)と森林散策他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円(保険料等)
申込み 5月25日(火)まで
定員(20名予定)を上回った場合は抽選

○第3回自主活動（第2火曜日&必要に応じて）

日時 2021年 6月8日（火） 9：30～
場所 森の家集合
内容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 6月1日（火）まで

○森林散策会

月 日 2021年 6月20日（日）
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付8：30～）
場所 ノノの森（津別町上里）
内容 森林散策・自然観察を通じて、森林の果たす役割を学び、森林の魅力を感じましょう。
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円（保険料、材料費等）
申込み 6月8日（火）まで
先着20名とします

○散策会の下見を兼ねた「自然に学び隊」活動（6月14日予定）を行いますので希望者は事務局まで連絡願います。

詳細は、決まり次第、参加希望者へ連絡します。

申込み 6月8日まで

○オホーツクの森林づくり（共催：常呂川FC）

月 日 2021年 6月27日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付8：30～）
場所 オホーツクの森
内容 森林づくり（カミネッコン植樹箇所の保育活動）を通じて自然を感じる
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
参加費 200円（保険料等）
申込み 6月15日（火）まで
定員（20名予定）を上回った場合は抽選

○第4回自主活動（第2火曜日&必要に応じて）

日時 2021年 7月13日（火） 9：30～
場所 森の家集合
内容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 7月6日（火）まで

常呂川森林ふれあい推進センターの 人事異動がありました

所 長

南 達彦→釧路湿原森林ふれあい推進センターへ
高橋好明 網走中部森林管理署より

自然再生指導官

磯野一浩→3月31日定年退職、4月1日再任用（行政専門員）

なお、「オホーツクの会」の担当変更はありません。

事務局 磯野一浩 担当 近藤光栄

南前所長におかれては、2018年4月から3年間お世話になり、大変ありがとうございました。

新任地（釧路市）へは単身赴任とのこと、健康に留意され活躍されることを祈念します。

よろしくお願ひします



所長 高橋好明

皆さま、こんにちは。

4月1日付けで常呂川森林ふれあい推進センター所長を命じられました高橋好明（よしあき）です。

どうぞよろしくお願ひいたします。

森林ボランティア「オホーツクの会」の皆様には、活発な活動を通じて、一般市民に広く森林の役割や大切さを普及していただいていることに感謝申し上げます。

オホーツクの雄大な自然とふれあいながら、楽しく仕事をしていきたいと考えています。

昭和59年採用、55歳、妻を札幌に残しての単身赴任です。

いろいろとお世話になるかと思っておりますがよろしくお願ひします。

木々に関するつづやき

【タラノキ】

高さ4mほどになるウコギ科の落葉広葉樹で日当たりの良いところに生え、枝や幹にトゲがある。

新芽を「たらのめ」「タランボ」などと呼び、テンプレラ、ごまあえ等の山菜として食べられるが、新芽（2番芽・3番芽）をすべて取ると枯れるので、採取時期・芽の残存を確認して採取することが大切。鹿の食害も深刻。

ウドを意味する朝鮮語「ツチタラ」が転訛して「タラノキ」らしい。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



心当たりの方はよろしくお願いします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144